

こどもの日に少年少女剣士が躍動！ 別所公春祭り共催剣道大会 平成28年度試合結果



5月5日(木)のこどもの日、恒例の「平成28年度別所公春祭り共催剣道大会」が開催された。市内小、中、高校生剣士たち104名が集い、小学生4年以下、5・6年生、中学生、高校生の各男子・女子の部の8部で個人戦を展開。優勝を目指す熱戦が、三木城主別所長治公の遺徳をしのぶ春祭りを大いに盛り上げた。

朝8時、晴天に恵まれた三木市民体育館には、選手のほか役員・審判員40名、試合場補助員の保護者20名、ほか各教室・学校の観客を合わせて約250名が詰めかけた。選手は8時30分から約1時間、合同稽古で汗を流した後、9時30分から開会式が行われた。あいさつに立った神澤正輝三木市剣道連盟会長は、「三木市民は434年前の領主、別所長治公の遺徳を今も大切に毎年祭りをしてきた。これは他市に自慢できること。皆

さんも剣道をしていることを自慢してほしい。」と述べるとともに、「三木北高校の横山暖選手が、県大会で3位になった。大変な快挙。」と話し、選手を激励した。その後、別所少年剣道教室主将末廣徹(6年生)選手が力強く選手宣誓を行った。



4月に新たに一学年進級したばかりの大会なので、昨年度とは一味違った対戦相手との組み合わせが楽しめる大会でもある。

でも、試合経験の有無で上級生を打ち負かす番狂わせも期待できる。4年以下女子の部には9名がエントリー、第1、第2、第3の各試合場で予選リーグを勝ち上がった自由が丘少年剣道教室の4年生3人の決戦となり、実力伯仲の総当たりの結果、優勝に輝いたのは中山玲奈選手。そして準優勝は小林奈央選手、第3位は夢桜(ゆき)おん(ごん)選手が入った。



低学年の部でも、試合経験の有無で上級生を打ち負かす番狂わせも期待できる。4年以下女子の部には9名がエントリー、第1、第2、第3の各試合場で予選リーグを勝ち上がった自由が丘少年剣道教室の4年生3人の決戦となり、実力伯仲の総当たりの結果、優勝に輝いたのは中山玲奈選手。そして準優勝は小林奈央選手、第3位は夢桜(ゆき)おん(ごん)選手が入った。



準決勝一組目は自由が丘少年剣道教室の森花選手対角石選手の同教室対抗となり、森花選手が勝利。準決勝二組目は、三木少年剣道会の山田選手対志染SSDの有延選手で、有延選手が勝利した。

決勝戦は、有延選手が森花選手を下し、優勝の金メダルを手中に収めた。

小学5・6年生女子の部は8名で行われたため、各4人の予選2リーグで勝ち上がった2人の決勝戦となり、志染SSDの栗田胡春(こはる)選手と同じ志染SSD



の中西涼風(すずか)選手との対決となり、お互いを知り尽くした対戦は大接戦となったが、試合巧者中西が勝利を収めた。

4年生以下、男子16名が出場し、元気のいい試合が展開された。グを制した4人によるトーナメント戦となり、